

プロローグ(夏合宿の総括)

この度夏合宿において成果として、白蓮洞・沢穴の解明そしてマイコミ平の滝谷の踏査といったものがあげられよう。

白蓮洞は-355m地点まで落ちたが、まだ底深く続いていたが、装備人員とも足りなくなりひきあげたわけである。白蓮洞の位置づけとして、日本では第2の奴奈川洞(-350m)をぬき、千里洞にせまる穴であった。今後、再度アタックをするとしたら、隊員は少なくとも8名以上、梯子250m以上と1週間以上の時間というものを準備していなければいけないと思う。

次に沢穴であるが、我が関大探検部洞窟班が千里洞に挑戦するためのONE STEPであった熊石洞(-120m)とほとんど同じ大きさの穴で最深部まで-107.5mあった。この穴を現在の我々の技術と隊員とでもってすれば二日かかりですませることができた。これを見て我が洞窟班というものが、青海を踏み台とし、いかに進歩してきたかということが明らかであると思う。

最後に滝谷の踏査であるが、これはまだ、我が洞窟班ではなされてなく、この度再三歩いてみたのであるが、まだ梯子を使わねば落ちることのできない穴を千つばかり発見した。地形的にみて、いずれもそれほどの深さは期待できないが、穴だけは落ちてみなければわからない。

なお、関係各位いろいろと御協力いただきました事を深く感謝します。

日程

20日

PM 10:16 梅田発

三年ハ木君・二年田中君・一年橋高君・小原君・井上君計5名。
杉江君は十二指腸をわずらい27~8日入るとのこと。

21日

AM 8:00 青海到着、青海町役場の研修会がマイコミ平であるとのことで役場の自動車にハ木・橋高・小原が便乗させてもらい研修会に同行する。回った所は、新マイコミ・千里洞・奴奈川洞・銀ナキ洞・曲蛇が穴。その間田中・井上は駅前で食糧購入。

PM

1:30 ジープにて田中・井上が林道の終点に到着。その頂研修会も終り林道の終点の荷を新マイコミのテント場までダブルボック

5:00 テント設営

22日

8:45 まず大穴へ行き後滝谷に入るうとしたが通天洞と大穴とをまちがえる。

12:00 大穴より春発見した滝谷にある穴へまざり行こうとして、滝谷の沢をつめ、途中より南の尾根を越えてさかしたかわからずハ木・田中・橋高・井上・小原と三隊に分け沢底下りテント場へもど

こうとする

5:00 3隊ともテント場到着。田中井上隊30m+dのたて穴を見つける。

23日

7:45 出発

田中井上隊、八木、橋高、小原隊の2隊に別け、春さがした穴をさがすため白蓮平より入ってゆく。ドリルをいって多し。滝谷の一応、飯洞と名付けた所で2隊合流し昼飯を食い、さらに南へ行く。その間、堅い木、洞石けり洞と梯子を使用しなければ着れない穴を計三つ見つける。

1:30 テント場に着く

24日

6:45 出発

暑いのに涼い所を目の前にして太陽の下を走りまわるのは、たえきれず、千里洞の沢を少し行った所の白蓮洞へ入洞開始。半日仕事ぐらゐの気持ちがあったが、落ちてみると案外深い。田中井上で25mまで(オレラス)まで降りる。とこより八木が加わり、-45mのオレホールへ到達。さらにオレラス、オレホールを通過して、さらにオレホールの立端より、20m梯子を降りし、引きあげる。

25日

6:45 出発

田中、小原、アタック隊。橋高、オレホールの支洞にて虫の採集。田中、小原、幻庵ルートを下りてゆく。途中の15mの梯子をフィクスし、美女の滝にぶつかり、明日にまわすことにする。

5:30 出洞開始

26日

6:50 出発

田中、井上、八木、アタック隊。美女の滝の落差が、かなりあるように思われ、ボルトを4本打ち、梯子20mを垂らしてみる。八木、20m降りたが、穴は見えない。冷たい水を浴び、あるえる程だ。

2:30 出洞開始

27日

7:00 朝食、午前中 休養

12:00 杉江、合宿に参加

1:15 田中、3名の一年生、通天洞より大穴まで測量。

八木、杉江、春に発見した新洞を、さがしに、大穴より尾根を越え、白蓮平へ行く。

28日

7:30 出発

八木、田中、美女の滝、オレ4mニーをこえて、オレ24mニーにぶつかり梯子の用意がなく、出洞する。

杉江、小原、滝の上で確保。井上、橋高、洞口。

3:00 出洞完了

29日

6:00 朝食. 午前中休養

1:00 出発

田中, 小原, 白蓮洞, 沢穴より, 大穴へ踏査. 大穴の沢より
オ2 小原洞, 橋高小原洞, ハ木雪洞, 双子洞に測量. 南沢
へ降り, テニッ場へ. 残り4名. 南沢をつめ, 田界尾根に
立ち, 滝谷の沢を下り, 大穴に出る.

30日

6:50 白蓮洞 入洞.

橋高, 小原, 洞口Bが, オ1テラス. 井上, 田中, 洞口に測量開始.
杉江, 美女の滝の上で確保. ハ木 アタック. ハ木, オ24m
ニーを通過し, オ34mニーの下で, 井上, 田中を待つ.

1:00 井上, 田中は, 測量をしつつオ34mニーまで行き, ハ木
と合流. 3名によって, アタック再開. 井上, ニラマシの
向で 写真. 採石 困難なカニユリ化石をハ木, 必死にとろ
うとする. 田中, ニラマシの向を通過, オ3ホールに到達.
危険であるため, それ以上 進むことを残念. 撤収開始.
-100m 地点まで 撤収したが, 人員不足のため, 残念する.

7:30 出洞完了

31日

9:00 出発. 撤収再開.

2:00 撤収完了

3:30 テニッ場 休息.

8月1日

8:00 出発.

白蓮洞の橋にある リンドウ登 橋洞, を, 一昨3名におて, 入洞
測量. 沢穴へ 測量を開始. 道をつくり, 梯子10mと梯
子20mをアグスし, オ1テラスに到達.

4:30 テニッ場

渡辺氏, 朝日新聞記者, をつれてこられる. 取材.

2日

7:15 出発

田中, 杉江, 沢穴をアタック, 最深部達す. 午後, 井上
小原, 入洞 測量. 撤収.

3日

7:00 朝食.

雨が はげしく 降る. 旧中, 資料整理.

4日

8:00 出発

ハ木, 橋高, 小原は, ドリーネ群を測量. 杉江, 田中, 井上は
春に発見した 新洞を土がしに行く. 発見 位置 確認.

6:30 夕食. キャンピル サービス.

5日

3:30 朝食.

5:30 下山開始.